

株式会社UCS(8787) 2015 年 2 月期第1四半期決算発表

1. 経営成績

〔単位:百万円〕

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期 純利益
2015 年 2 月期第1四半期 (前年同期比)	4,591 (8.1%)	662 (△10.9%)	664 (△10.8%)	334 (△26.5%)
2014 年 2 月期第1四半期 (前年同期比)	4,245 (2.2%)	743 (30.0%)	744 (30.0%)	454 (34.7%)

2. 部門別概況

(1) 包括信用購入あっせん(クレジットカードショッピング)

クレジットカードショッピングは、消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要に加え、グループ営業企画の実施により、カード稼働率 請求単価が向上し好調に推移いたしました。この結果、取扱高は、1,521 億 31 百万円 (前年同期比 12.1%増)、営業収益は、31 億 18 百万円(前年同期比 8.6%増)となりました。

(2) 融資

取扱高は、貸金業法の影響により、37 億 99 百万円(前年同期比 2.4%減)と厳しい状況が続いております。営業貸付金残高は前事業年度末に比べ 7 百万円減少(前事業年度末比 0.1%減)し、135 億 22 百万円となりました。この結果、営業収益は、6 億円(前年同期比 13.2%減)となりました。

(3) 電子マネー

平成 25 年 11 月に移動したグループ専用電子マネー「ユニコ」の会員数は、529 千人(前事業年度末比 138 千人増)となり、取扱高は 178 億 16 百万円となりました。その結果、営業収益は、2 億 2 百万円となりました。

(4) 保険代理業

損害保険およびクレジットカード会員向け通販保険が堅調に推移しました。この結果、営業収益は、4 億 14 百万円(前年同期比 1.8%増)となりました。

以上の結果、その他の収益と合わせて、営業収益は、45 億 91 百万円(前年同期比 8.1%増)となりました。

3. 営業費用

ユニーグループ・ホールディングス株式会社のCMS(キャッシュ・マネジメント・システム)導入効果により支払利息が低減しましたが、クレジットカードショッピングおよび電子マネーの取扱高増加に伴うポイント費用の増加や、貸倒関連費用の増加により、営業費用は、39 億 28 百万円(前年同期比 12.2%増)となりました。

4. 営業利益・経常利益・四半期純利益

以上の結果、営業利益は、6 億 62 百万円(前年同期比 10.9%減)、経常利益は、6 億 64 百万円(前年同期比 10.8%減)、四半期純利益は、3 億 34 百万円(前年同期比 26.5%減)となりました。